

東北地方 3 か月予報

(2 月から 4 月までの天候見通し)

平成 2 0 年 1 月 2 4 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
気温は、平年並または高い確率がともに 4 0 % です。

2 月 冬型の気圧配置は弱く、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

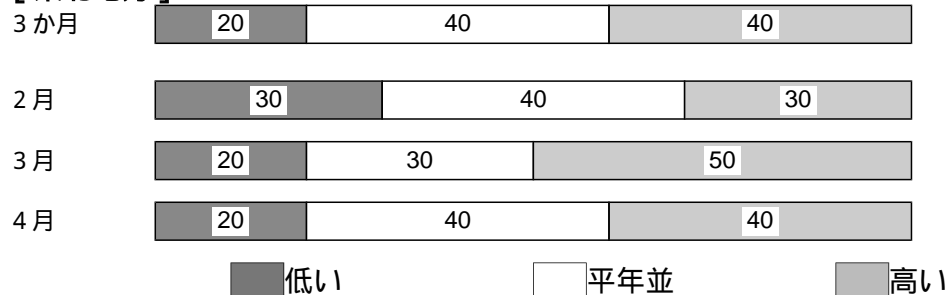
3 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
気温は、高い確率が 5 0 % です。

4 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
気温は、平年並または高い確率がともに 4 0 % です。

< 向こう 3 か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率 (%) >

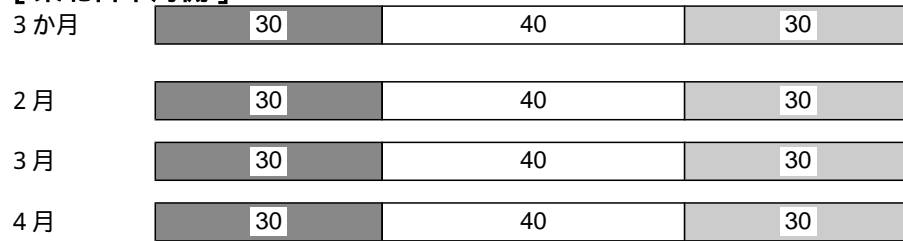
< 気温 >

[東北地方]

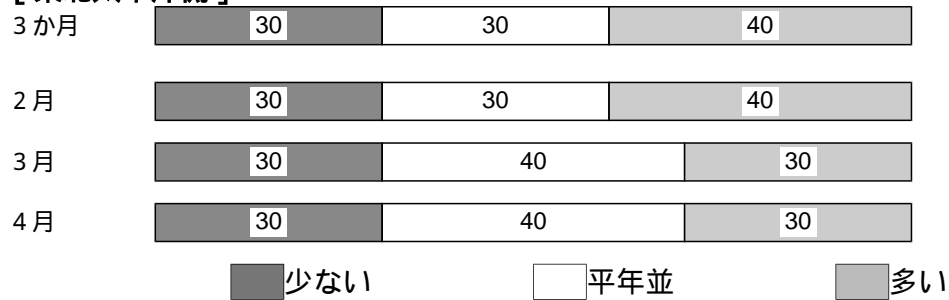


< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



< < 降雪量 > >

[東北日本海側]



< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は1月25日

3 か月予報：2月25日(月) 14時

暖候期予報：2月25日(月) 14時

2月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 平年値（月・ ３ か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量）

	気 温()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	2月	3月	4月	2月～4月	2月	3月	4月	2月～4月	2月	3月	4月	2月～4月
青森	-1.1	2.0	7.9	2.9	116.0	69.5	60.7	246.2	72.9	140.8	187.3	401.1
深浦	-0.2	2.6	8.3	3.6	77.3	78.3	93.3	248.8	48.8	120.0	174.7	343.4
むつ	-1.5	1.4	7.2	2.4	84.9	77.3	81.1	243.9	91.8	154.3	193.8	439.9
八戸	-0.9	2.3	8.3	3.2	52.7	51.6	58.9	163.2	131.8	173.8	194.3	499.8
秋田	0.2	3.2	9.2	4.2	92.0	93.0	117.6	302.6	65.6	135.7	175.0	376.3
盛岡	-1.6	1.8	8.4	2.9	54.9	80.1	93.8	228.8	128.9	167.3	175.1	471.3
大船渡	0.9	3.5	9.0	4.4	58.2	91.8	138.0	288.0	141.9	168.7	176.0	486.5
宮古	0.3	3.0	8.7	4.0	79.6	85.9	96.3	261.8	151.2	182.9	192.3	526.4
仙台	1.7	4.5	10.1	5.4	48.4	73.0	98.1	219.5	151.9	182.3	190.9	525.1
石巻	0.9	3.7	9.2	4.6	44.3	70.3	91.8	206.4	162.6	189.7	192.6	544.9
山形	-0.2	3.1	9.8	4.2	70.2	66.5	68.1	204.8	99.3	146.5	180.3	426.0
新庄	-1.0	2.0	8.1	3.0	145.3	112.1	98.3	354.2	56.3	117.2	150.2	325.6
酒田	1.4	4.2	9.8	5.2	115.3	103.5	105.5	324.3	60.0	126.1	173.1	359.1
福島	1.8	4.9	11.3	6.0	49.8	76.9	79.5	206.2	144.3	179.2	188.6	512.1
若松	-0.4	3.0	9.9	4.1	70.2	63.9	63.4	197.5	97.3	140.1	175.8	413.2
白河	0.5	3.6	9.8	4.6	41.4	71.1	100.5	211.5	152.4	183.4	184.2	522.2
小名浜	3.7	6.2	11.1	7.0	61.9	106.1	128.3	296.2	175.0	187.8	186.1	548.9

	降 雪 量(cm)			
	2月	3月	4月	2月～4月
青森	205	97	9	311
深浦	114	53	3	170
むつ	160	95	7	262
八戸	103	56	6	164
秋田	120	51	2	172
盛岡	98	60	6	163
大船渡	27	13	1	41
宮古	72	47	5	124
仙台	31	15	1	47
石巻	24	11	1	36
山形	147	71	3	222
新庄	242	134	20	396
酒田	119	43	1	162
福島	73	34	3	110
若松	160	74	6	241
白河	51	32	3	86
小名浜	7	2	0	9

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	2月	3月	4月	2月～4月
気温平年差()	東北地方	-0.4 ～ +0.5	-0.4 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.4
	東北日本海側	-0.3 ～ +0.4	-0.4 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.4
	東北太平洋側	-0.4 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.3	-0.5 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.4
降水量平年比(%)	東北地方	80 ～ 109	87 ～ 111	89 ～ 112	95 ～ 108
	東北日本海側	95 ～ 108	90 ～ 109	90 ～ 110	97 ～ 105
	東北太平洋側	69 ～ 117	78 ～ 120	84 ～ 113	91 ～ 109
降雪量平年比(%)	東北地方	78 ～ 118	78 ～ 117	27 ～ 115	78 ～ 118
	東北日本海側	87 ～ 115	79 ～ 118	27 ～ 139	90 ～ 115
	東北太平洋側	73 ～ 119	66 ～ 106	13 ～ 89	73 ～ 118

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ 3 3 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 %、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料 (2～4 月)

平成 20 年 1 月 24 日 仙台管区气象台

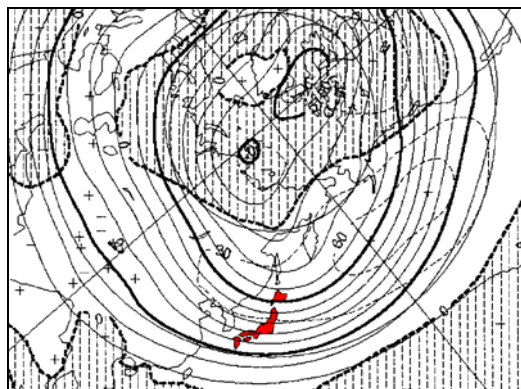
1. 向こう 3 か月の確率予報の特徴 (日は東北日本海側、太は東北太平洋側を表す)

	気温	降水量
2～4 月	平年並または高い確率がともに 40%	各階級の確率の偏りは小さい
2 月	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
3 月	高い確率 50%	各階級の確率の偏りは小さい
4 月	平年並または高い確率がともに 40%	各階級の確率の偏りは小さい
2～4 月の東北日本海側の降雪量は、各階級の確率の偏りは小さい		

2. 数値予報 (アンサンブル予報) による大気の流れの予想

3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図 (右図) :

予想図では、日本付近は広い範囲で正偏差 (平年より高度が高く、暖気に対応) となり、北太平洋の日付変更線付近から北日本にかけては強い正偏差が見られる。このため、この資料からは 3 か月平均気温は平年並か高い傾向が予想される。



3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図

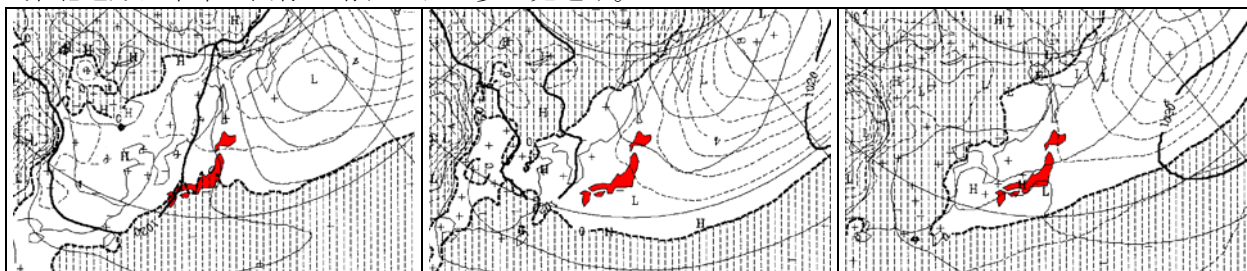
実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎
陰影部は負偏差 (一般に寒気に対応)

月別の地上気圧と偏差の予想図 (下図) :

2 月 : 東北地方以北は正偏差 (平年より気圧が高い) で、アリューシャン列島付近まで正偏差が強い。バイカル湖付近から西は負偏差 (平年より気圧が低い) で、日本付近の等圧線の間隔が平年に比べて大きく、平年に比べ冬型の気圧配置は弱い。そのため気圧の谷は日本付近を通りやすい。東北地方も数日程度の周期で影響を受け、東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が多い見込み。

3 月 : 大陸の内陸部から高緯度にかけては負偏差で、低緯度も広く負偏差だが、日本付近から北太平洋は広く正偏差となる。冬型の気圧配置は少なく天気は数日の周期で変わり、気温は高い見込み。

4 月 : 3 月と同様に日本付近はカムチャツカの東の日付変更線付近から続く正偏差。大陸の内陸部から高緯度にかけてと、日本の南海上も負偏差だが、日本を横断するように強い高压部がかかり、東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込み。

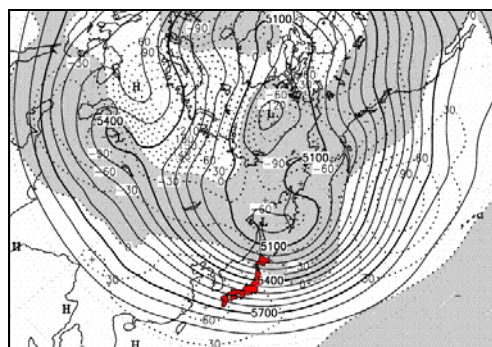


月別の地上気圧と偏差の予想図 (左から 2 月、3 月、4 月)

実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎、陰影部は負偏差

3. 今月の循環場の特徴

1 月 (20 日まで) : 500hPa 高度では、本州付近は大陸まで続く正偏差だが、極付近から北海道まで負偏差。オホーツク海付近に低圧部の中心があり、日本に寒気を南下させやすい状況に対応しており、東北地方は中旬を中心に気温の低い日が多かった。



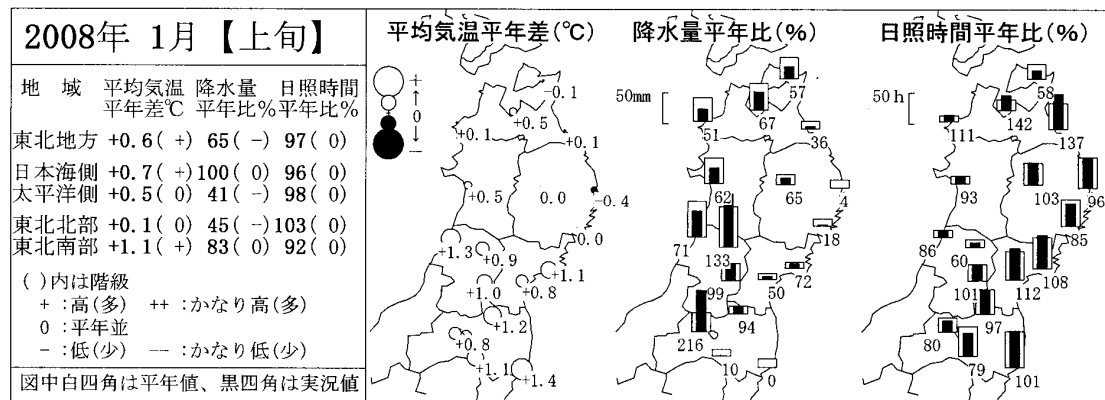
1 月 1 日～20 日の平均 500hPa 高度

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎、陰影部は負偏差

4. 最近の天候経過

1月上旬：年末から1月1日には、東北地方の上空に強い寒気が入った影響で大雪となったところがあった。その後は、気圧の谷や低気圧が短い周期で通過し、曇りや雨または雪の日が多かったが、東北太平洋側では移動性高気圧におおわれて晴れる日もあった。

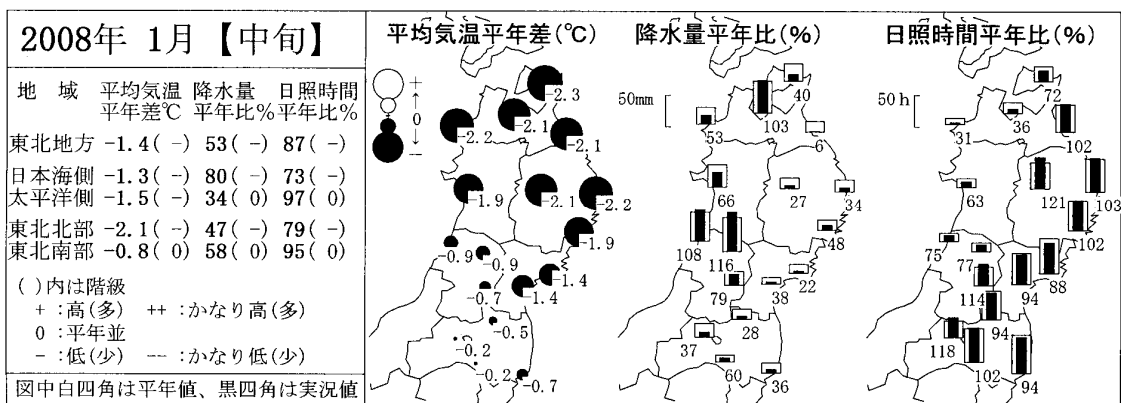
平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北地方で平年並。



東北地方における1月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

1月中旬：12日には低気圧が日本の南岸を通過したが、その後は冬型の気圧配置となり強い寒気が南下したため、気温の低い日が続いた。東北日本海側を中心に曇りや雪の日が多かったが、東北太平洋側では沿岸部を中心に晴れの日もあった。

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

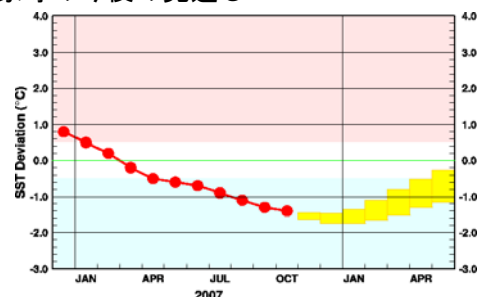


東北地方における1月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

5. 太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

太平洋赤道域の海面水温は、中部から東部にかけて顕著な負偏差だった。海面から深さ数百mまでの水温と、中部太平洋赤道域の東西風の状態は、ラニーニャ現象が持続していることを示している。

エルニーニョ監視海域の海面水温は、今後、春の初めにかけては基準値より低い値で推移し、その後、次第に基準値に近づくと予測される。ラニーニャ現象は少なくとも春まで続く可能性が高い。



エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値の推移(折れ線)と今後の予測(ボックス)

<参考資料>

平年の天気出現日数(日)

	2月		3月		4月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	6.6	17.9	13.3	19.8	16.8	18.2
雨の日	16.6	7.0	14.0	8.3	10.9	8.9

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いている。